

●ラケル ●中国人Yさん



ハンブルクは、ここ2週間ほど素晴らしい秋晴れの日々が続きました。(9月25日記)

24日の礼拝の後、車で送ってくれたドイツ人ご夫婦と、お天気があまりに素晴らしいので、途中下車して、ニードルフゲヘーゲという牧場公園に立ち寄りしました。その小道で、シュプリングクラウト (Springkraut、写真) と呼ばれる植物を見つけました。シュプリングクラウトは、訳すと「飛び散る草」という意味です。その名の通り、シュプリングクラウトの少し大きめの花のつぼみを指でつまむと、つぼみが破裂して、中から白い実が飛び出すのです。その後は、写真のようなピンク色のかわいらしい花を咲かせ

せます。

この日の朝は、黙示録5章13節を読んで、かの日には、天使や救われた人々だけでなく、すべての被造物が小羊を賛美することに感動を覚えていた時でした。シュプリングクラウトも、被造物が贖われた時には、つぼみの中の白い実を空一面にまき散らしながら、小羊をほめたたえるのかもしれない。

\* Springkraut の正式名 : Druesig 原産地のヒマラヤでは、Impatiens と呼ばれている

## ●ラケル

先週、ハンブルク近郊に住むクリスチャンのR夫人から電話がありました。「ホロコースト生存者のラケルがイスラエルから来ているのだけれど、是非アツコに会いたいと言っている」というのです。それを聞いて驚きました。丁度その朝、私はラケルのために祈っていたからです。ラケルとは、3年前、ドイツ・エベネゼルが企画した、ホロコースト生存者の集い(メルマガ36号)でお会いしました。そのとき、全部で12人のホロコースト生存者がイスラエルから招かれましたが、私はラケルに特別な親近感を覚え、以来、CDや新年の挨拶のはがきなどを送ったりしていました。そして、彼女の写真を机の前に張り、彼女の救いのために、毎日のように祈って来たのです。

9月22日、私たちは喜びの再会を果たし、R夫人宅で、ユダヤの新年(ロシュ・ハシャナ)を祝いました。テーブルを囲んで、R夫人がロシュ・ハシャナのための祈禱を捧げました。そして、ラケルが用意してくれたロシュ・ハシャナの特別料理、ツィメス(細かく切った人参とプラムをキャラメル・ソースで煮たもの)などいただき、皆、彼女の連発するユダヤ・ジョークに抱腹絶倒しながら、幸いなひと時を過ごさせていただきました。

あまりにも過酷な経験をしたホロコースト生存者たちの多くは、神を信ずることができません。「神がいるのなら、何故、あんなことを許されたのか?」と彼らは口をそろえて言うのです。ラケルも無神論者のひとりです。けれども、数年前からエベネゼルや、イスラエルではフィリピン人クリスチャンの介護士から心のこもったケアを受け、今回も、ユダヤ人のために働くR夫人から招待を受けることなどを通して、クリスチャンに大きく心を開くようになりました。ラケルは現在76歳です。彼女が一日も早くイエシュア(イエス)の救いに導かれま

すよう、皆様も共にお祈りいただければ感謝です。

---

## ●中国人 Y さん

2年前のメルマガに、ナチスの中国人迫害をテーマにした公演に行ったときのことをご紹介させていただいたことがあります。その時に書かせていただいたのが以下の内容です。

「私の心の中では、ナチの中国人迫害は、南京戦争で日本が中国にしてきたことと重なるものがありました。ドイツは、戦後60年近くたった今でも、このように自分たちが犯した罪を、新しく発見された事実として公表し、謝罪を続けています。日本もいつかドイツのように、自分たちの罪を謝罪し、このように国内外に公開する日が来て欲しいと願っています。

この日、「もし、隣の席に中国人が座ったなら、どうかその人に、日本が中国で犯した罪を謝罪させてください。」と祈りつつ、会場に向かいました。そして、何と私の隣には、若くてかわいらしい中国人が座ったのです！それで、講演会が始まる前に、私は、会話のきっかけをつかもうと思い、幾度となく彼女に話しかけました。「どこから来たの？」「いつドイツに来たの？」「ドイツの生活はもう慣れた？」・・・最初、彼女は、慣れないドイツ語に、あまり答えたくなさそうな感じでした。何とうるさい日本人、と思ったかもしれません。それがです！彼女がコンセ（コンセルバトリウム＝音楽学校）の声乐専攻の学生だということで、コンセの日本人学生で私のところにレッスンに来ている子がいる、と言ったら、彼女は急に姿勢を正して、「もしかして、あなた、M子の先生ですか！？」と聞いてきたのです。「そうです。」と答えると、「これは運命的な出会いです！私はあなたにずっと前からレッスンを受けたいと思っていました！」と言うのです。その後、私は、主にお願ひしたとおり、彼女に謝罪することができました。感謝！」

そして、祈りの課題として、「上記の中国人女性に福音を伝えることが出来ますように」と皆様にお願ひしたのです。けれどもその後、彼女と再会するチャンスはありませんでした。

ところが、です。11月の中国伝道へ向けて中国語を習いたいと先生を捜していた折、紹介してもらったのが何と彼女、Yさんだったのです！今、毎週、Yさんから賛美歌の中国語の発音を教えてもらっていますが、先週、「アメイジング・グレイス」の作詞者、ジョン・ニュートンがどのようにして信仰に至ったかを説明しましたら、感動して聞き入っていました。そして、「私もこの曲を歌ってみたい」と楽譜を持って帰りました。今日9月28日が最後のレッスンになります。主が良き伝道の時としてくださることを願っています。Yさんの救いのためにもお祈りください。

---

## ●お知らせ

1. AKMMでは、10月26日（木）、VIP 関西センター9Fにて「ルーマニアの洪水被災者支援のためのチャリティー・コンサート」を開催いたします。関西にお住まいの方は、どうぞお知り合いの方々をお誘いの上、是非お越しください。電話でのチケット予約も事務局にて受付中です。

2. また、AKMMでは、11月17日～22日、杭州教会での賛美コンサートに合わせて、「上海・杭州5日間

の旅」ツアーを企画いたします。詳細をお知りになりたい方は、事務局までご連絡ください。

---

日本へ向かうまで、あと10日余りとなりました。全ての準備を、主の導きによって滞りなく終えることができますようお祈りください。

次回は、日本から皆様にメルマガをお送りさせていただくことになると思います。

主の平安と祝福が皆様と共にありますよう心からお祈りしています。

工藤篤子